

農作業日誌はおろか会議の議事録や使い捨てカメラの使い方も理解できず、協定文書の作成や管理、それに伴う事務ができない状態である。例えば「議事録は？」とたずねると、新聞折込の裏に鉛筆で走り書きされたメモが提出されるという具合である。

農林事業では、国・県での各種補助・助成・交付金制度は数多く地元負担があるものも少なくないが、多くは地元集落に各種報告や記録等の提出を求める場合がある。それが提出できない状況になっている。役所的には「文書」が必要になるものの集落では役人が満足する文書が書けないというのが現状である。

また、後継者である若い世代が集落を離れ、都会に定住し高齢化し介護が必要になった親を集落に迎えに来ると、その家が「空き農家」となり、管理されていた農地が荒廃し耕作放棄するという負の循環が続いている。

(神子原地区 神子原町・千石町・菅池町の世帯数と人口推移 H16年8月現在)

地区	年度	S59	H1	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
神子原	世帯数	132	132	129	127	124	124	123	124	124	122	121	119	116
	人口	557	518	472	449	427	428	419	417	407	399	386	381	365
千石	世帯数	31	30	28	28	28	27	27	27	26	26	26	27	24
	人口	141	134	114	109	106	104	101	98	95	88	82	87	78
菅池	世帯数	33	32	31	31	32	31	32	32	32	31	30	30	28
	人口	134	128	105	106	105	97	99	97	96	91	83	85	82

(資料 羽咋市統計調査)

〔耕作放棄地の拡大〕

羽咋市神子原地区(千石町・神子原町・菅池町)、寺家町・滝町・一ノ宮町、上甘田地区(柴垣町・滝谷町)、邑知地区(千代町、福水町、白瀬町、宇土野)は、市内でも耕作放棄率は高く、神子原地区だけでも放棄面積及び3年以上保全とされた面積は31haにも及び耕作放棄農地全体175ha(農業センサス)の17.7%、寺家・一ノ宮・滝地区では18.9%を占めている。こうした傾向は、農村集落から世帯が消え、管理していた農地が荒廃し放棄化するというサイクルであり農村そのもののスプロール化現象が続いている。

さらに、耕作放棄されている農地の特徴の一つは「小規模面積(10a前後)」でかつ点在していることである。小規模の耕作放棄農地が蓄積し、大きな面積として数字で反映されており、一挙に数haも放棄地が拡大するという傾向ではない。

集落名	放棄面積	3年間保全面積	合計 (単位 m <sup>2</sup> )
神子原町	150,505.00	46,402	196,907
千石町	42,885.00	40,263	83,148
菅池町	27,728.00	10,900	38,628
一ノ宮町	21,603.00	15,508	37,111
寺家町	17,240.00	19,145	36,385
滝町	249,521.00	9,294	258,815
柴垣町	4,292.00	111,409	115,701
滝谷町	7,946.00	30,192	38,138

(資料 H12 農地特別管理調査)

2 課題と対策

(課題への対策と問題の本質)

前述してきた中山間地域の課題、①集落人口減少、②高齢化・離村・放棄地の拡大、こうした課題にどこから何を具体的に着手し、どのように取り組めばいいのだろうか？

我々が考えた問題の本質は、中山間の農村集落を離れなければならない理由であった。直接支払い制度等の国や県の支援があったとしても、離村し、農地を放棄する本当の理由が知りたかった。

それは実に単純な理由であった。「農業だけしていても、到底生活できない」という現実である。特に中山間地域では平野部に比べると農地の大きな団地化や集積ができない、また急傾斜の棚田が広がり耕作がとても困難な点。さらに、平野部に比べると反収率が65%と低く、おまけに豪雪地帯、地滑り地帯でもある。日本の平均的なサラリーマン年収の450万円には到底届かないという現実である。仮に、農業だけで年収400万円以上の年収があれば、都会に出て就職する必要も無くなり、後継者は農村集落を無理に離れる必要も無くなる。農業経営によって生計を立てることができれば農業後継者不足の心配もなくなるはずである。根本問題は「小さな農地しか持たない農家は、農業だけでは生活できない現状」であり、解決は、山間部のある程度の農地面積でも農家が生活できるようにすることであった。

(農家が農業経営者になれない流通制度)

しかし、もう一方で農産物は、農家が自分でコスト